

洗足徒然日記



こんにちは。報道委員です。

文化祭の実行委員の方々のご活躍を拝見し、合唱コンクール実行委員会の方々はどのような活躍をなさったのか報道委員として皆様にお伝えしなければならないと思い今回のテーマは合唱コンクールにしました。

今回の合唱コンクールを大成功に導いてくれた実行委員長のお話を紹介します。合唱コンクールの雰囲気味わって頂けたらと思います。

「今年の6月11日は私にとって、とても大切な日となりました。

中1の頃は、ただただ先輩に憧れていて、合唱コンクール実行委員会のすること・内容でなく、そのグループのメンバーになることが目的で委員会に応募しました。

中2になって間近で忙しく働いている先輩方を見て、その真剣さや成功させたい！という気持ちが伝わってきて、今度は委員長への興味が湧いてきました。そして中2の合唱コンクールの委員長の言葉や先輩方がステージの上で泣いていらっしやるのを見て、私も“やりきった！”という喜びで涙を流してみたいと思い、気持ちが固まりました。

中3になって、自分が委員長になれたと知ったとき、とても嬉しい気持ちと何から始めていいのか分からずドキドキでいっぱいでした。実際に委員長をやってみて、あまり表には出ない事務的な仕事の多さに驚きました。

先日、講演をして頂いた方が“悲観的に準備し、楽観的に行動する”という言葉をおっしゃっていたのですが、まさにその通りだと思いました。そして仲間と計画の大切さを改めて実感しました。計画を立てないと、いつの間にか日にちばかりたっていて全然進まないし、仲間がいなければ一度立ち止まったときにもう一度歩み始めることができなかつたからです。

最後に、この年のこのメンバーの中で一生に一度の合唱コンクールの委員長ができてとても幸せです。楽しくやりがいのある最高の合唱コンクールでした。」